

運輸省海運總局船舶局監修
造船海運綜合技術雜誌

船の科学

C型貨物船
第一眞盛丸
(船舶公園・原商事)
日立造船櫻島工場
昭和23年12月19日進水



VOL. 2 NO. 2 FEB. 1949

昭和24年 1月25日印刷 第2卷第2號
昭和24年 2月 1日發行 (毎月1回1日發行)
昭和23年12月 3日 第三種郵便物認可

船舶技術協会

2

造船海運綜合誌



船の科学

運輸省海運總局船舶局監集 1949
船の艦装の重要さ

船型學や推進抵抗に關する理論及び實際は現在まで相當に進歩し、かつての日本造船能力の優秀さを誇つてゐたのであるが、世界の造船と海運の發達はここ數年の間に更に飛躍したことは當然で、日本の造船技術も従來の線に止まらず更に進歩せねばならないと思ふ。其中で特に必要と思はれるものは、船を如何に能率よく使用するかの問題であらうと思ふ。即ち船の艦装を如何にすべきかが最も重要である。航海機器類の完備による鋭敏な行動、電氣設備を船内くまなく完備すること

によつて一層能率を向上し、荷役設備關係を最も能率よい様に配備して船の稼働率を高め、居住に關する凡ゆる施設を豪華よりも能率本位にし、衛生的にして船員の活動能力を十分保持し得る様にすべきである。最近の日本船舶の現状から見て、質の向上によつて優秀な船を造らねばならず、徒らに昔の豪華さのみに走つて不釣合な船にすることは大いに注意すべきであらう。船の艦装が本當の意味で立派に完備されることを望んでやまない。

井ゲタロイ
パットレスセンター

住友電氣工業株式會社
本店 大阪市此花區豊島南之町六〇番地
東京支店 東京都中央区銀座六ノ四(交詢ビル)
電話 銀座(57) 0829, 1838, 3 65

目次	
新造船寫眞集 No. 4	
海運人の立場と技術の問題 (横山涉).....	2
論説 外國船の借入への期待	3
霧中航行と最新の航海計器 (井關貢).....	4
ガスタービンの發達 (朝永研一郎).....	7
アメリカのガスタービン發達の現状 (平岡正助).....	9
船員かたぎ (小門和之助).....	11
浪人の寢言 (つむこじ).....	13
船舶とガラス (會田軍太夫).....	15
推進器放談 (鬼頭史城).....	17
造船所便り (川崎重工泉州工場).....	18
水中軸承用「カババイター」に就て (並河教民).....	19
用語解説	21
第九號榮丸、えさし丸の比較 (下河邊正).....	22
Kort Nozzle に就て (横山信立).....	24
樽安丸修理の思ひ出 (武原真一).....	25
船舶の綜合強度について (栖原二郎).....	27
國內ニユース	31
海外ニユース	33
國內資料	35
船舶資料 (副資料について).....	36
「メーカー」一覽表	39
新造船一覽表、編集後記	40